AVT-C285 & ER130: MBRディスクをGPTディスクに変換する手順

0. はじめに

まず、弊社製品AVT-C285 / ER130は、GPT形式のディスクには対応しておらず、MBR形式のディスク (HDDなど)のみの対応となっております。しかし、2016年現在、EFIが使われるようになり大容量のHDD が市場に出回るようになったことで、GPT形式のディスクをご利用になられている方が増えていますが、 AVT-C285/ER130ではGPT形式のディスクを認識することができないため、大変お手数ですが、 下記の手順に従ってGPT形式のディスクをMBR形式に変更して下さいますようお願いします。

×インメニュー 🇞 🕑 15:33	G <hddを認識できない場合の画面表示例></hddを認識できない場合の画面表示例>
▶ 録画ファイル/静止画	
☞ ディスク管理	2010年1月11日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本
保存先のフォルダ / / ディスクの情報	録画と静止画を使用できません
	必ずNTFSでフォーマットされたハード
 ▲● ④● ● (例:AVT-C285の場合 - 【設定】→【ディスク管 理】→【ディスクの情報】の画面)HDDが認識できません 	トライノをインストールしくくたさい。 そして[F1]を押し保存先を再設定する

MBRとGPTの違い					
MBR形式	GPT形式				
(マスターブートレコード Master Boot Record、略称:MBR)	(GUIDパーティションテーブル GUID Partition Table, 略称:GPT)				
1. 往来のフォーマット形式(古い規格)	1. 新しいフォーマット形式(新しい規格)				
2. 2TB以下の容量が多い	2. 2TB以上の容量が多い				

- ・GPTについて:<u>https://ja.wikipedia.org/wiki/GUIDパーティションテーブル</u>
- ・MBRについて:<u>https://ja.wikipedia.org/wiki/マスターブートレコード</u>
- ・GPTディスクとMBRディスクの違い:

http://www.disk-partition.com/jp/gpt-mbr/difference-between-mbr-and-gpt.html http://freesoft.tvbok.com/tips/hdd_ssd/windows_mbr_gpt.html http://volx.jp/diary/4101/ http://www.sakaiden.com/?p=14260

※ご注意 (AVT-C285 / ER130) :

- 1. HDDの最大対応容量は2TB以下です。
- 2. HDDはNTFSフォーマットのみ対応です。
- 3. 自動暗号化機能や省電モード搭載のHDDに対応しておりません。
- 4. ネットワークアタッチトストレージ(NAS)システムに対応しておりません。
- 5. AVT-C285 / ER130は全ての市販のHDDでの対応することを保証できません。
 - もしご使用のHDDで対応できない場合は、別のHDDと交換して下さい。

- 手順1. ディスク(HDDなど)のGPTディスク・MBRディスクの判別方法 (※Windows® 10を利用する場合)
- 1. HDDを付属のUSBケーブルでパソコンと接続します(本例はWestern Digital 社製の2TB HDD 「WDBBKD0020BBL-PESN」を利用しています)。
- 2. 画面左下のWindowsマークを右クリック(若しくはキーボードのWindowsキー+Xキーを押します)し、 【ディスクの管理】をクリックすると、【ディスクの管理】の画面が表示されます。



З.

「ディスクの管理」画面では、GPTからMBRへ変換したいディスクを選択します。

- ① 【ディスク1】を右クリックし、【プロパティ】をクリックします。
- ② 【ハードウェア】を選択し、【プロパティ】をクリックします。
- ③ 【ボリューム】を選択し、GPTディスクの場合、「GUID パーティション テーブル (GPT)」と表示されます。



※若しくは、下記の方法でも確認ができます。

1.

- 管理者権限のあるユーザーで画面左下のWindowsマークを右クリック(若しくはキーボードの[Windows]キー+ [X]キーを押します)します。
- ② 【コマンド プロンプト】をクリックすると、【コマンド プロンプトディスク】の画面が表示されます。



- 2. 【コマンド プロンプト】画面で、下記の図のように:
- 「diskpart」と入力してキーボードのEnterキーを押して実行すると、【diskpart.exe】の画面が表示されます。
 (※diskpartコマンドはコマンドプロンプト上で利用するツールです。)

💽 コマンドプロンプト - diskpart	_	×	■ C:¥WINDOWS¥system32¥diskpart.exe – □ >	×
Microsoft Windows [Version 10.0.14393] (c) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.		^	Microsoft DiskPart バージョン 10.0.14393.0	^
C:¥Users¥AVerMediaTech-jp) <mark>diskpart</mark>			Copyright (C) 1999-2013 Microsoft Corporation. >コンピューター: AVERMEDIA-JP	
			DISKPART> _	

②diskpartコマンドを起動したら、次は「<mark>list disk</mark>」と入力してキーボードのEnterキーを押して実行すると、 システムのディスクー覧が表示されますので、ディスクのパーティションの状態が確認できます。

「*」印はGPT形式のディスクであることを表します。	V PC
	> 🚽 ダウンロード
I C:¥WINDOWS¥system32¥diskpart.exe − □ >	< > 🔜 デスクトップ
Microsoft DiskPart バージョン 10.0.14393.0	> 🗮 ドキュメント
Copyright (C) 1999-2013 Microsoft Corporation. コンピューター: AVERMEDIA-JP	> 📰 ピクチャ
DISKPART> list disk	> 📑 ビデオ
ディスク 状態 サイズ 空き ダイナ GPT	> 🎝 ミュージック
**** ディスク 0 オンライン 465 GB 0 B * ディスク 1 オンライン 1862 GB 0 B * ディスク 2 オンライン 14 GB 0 B	→ La Windows (C:) → La My Passport (D:) → My Passport (D:) → ディスク 0 (* GPT) ←ディスク 1 (* GPT)
DISKPART> _	> _ AVerMedia (E:) ← ティスグ 2

手順2. GPTディスクをMBRディスクに変換します(※Windows 10を利用する場合)

◆変換する前の注意点◆

GPTディスクをMBRディスクへ変換すると、GPTディスクに保存されているデータが全て削除されますので、 必要なデータは事前に別の媒体へバックアップをして下さい(この作業において削除されたデータの保証について、 弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい)。

1.

画面左下のWindowsマークを右クリック(若しくはキーボードのWindowsキー+Xキーを押します)し、 【ディスクの管理】をクリックすると、【ディスクの管理】の画面が表示されます。



2.

【ディスクの管理】の画面では、【ディスク1(My Passport (D:)】(今回使用しているHDD)のディスクのボリュームのドライブを右クリックし、「ボリュームの削除(D)…」を選択して削除します。

②「シンプルボリュームの削除」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックします。
 ③ボリュームの削除が完了すると、「未割り当て」という表示になります。



З.

【ディスク1(My Passport (D:)】(今回使用しているHDD)を右クリックし、 「MBRディスクに変換」をクリックします。

── ディスク 0 ベーシック 465.64 GB オンライン	500 MB 正常 (回復パーティション)	100 正?
ディスク1 ベーシック 1862.99 GB オンライン 右クリック ディスク2 リムーバブル	1862.99 GB 未割り当て 新しいスパン ボリューム(N) 新しいストライプ ボリューム(T) ダイナミック ディスクに変換(C)	
14.98 GB オンライン	MBR ディスクに変換(V) プロパティ(P) ヘルプ(H)	

4.

【ディスク1(My Passport (D:)】(今回使用しているHDD)のディスクのボリュームのドライブを右クリックし、 「新しいシンプルボリューム」をクリックします。

①「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

ディスク 0				新しいシンプル ボリューム ウィザード		×
ベーシック 465.64 GB オンライン	500 MB 正常 (回復パーティション)		100 MB 正常 (EFI シ		新しいシンプル ボリューム ウィザードの開始 このウィザードでディスク上にシンプル ボリュームを作成できます。	
	右クリック				シンプル ボリュームは、単一のディスク上にのみ可能です。	
ー ディスク1 ベーシック 1862.98 GB オンライン	1862.98 GB 未割り当て	新しいシンプル ボリューム(I) 新しいスパン ボリューム(N) 新しいストライプ ボリューム(T).			続行するには [次へ] をクリックしてください。	
<i>■ ディスク</i> 2 リムーバブル 14.98 GB オンライン	AVerMedia (Fr	プロパティ(P)	-			
	Avenuedia (E) 14.98 GB NTFS 正常 (ゴライマリ	ヘルプ(H)				
					< 戻る(B) 次へ (N) >	キャンセル

2&3

【ボリュームサイズの指定】や【ドライブ文字またはパスの割り当て】の画面では、そのまま「次へ」をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード		×	新しいシンプル ボリューム ウィザード	×
ボリューム サイズの指定 最小サイズと最大サイズの間でボリュームのサ	ナイズを選択してください。	2	ドライブ文字またはパスの割り当て アクセスを簡単にするために、ドライブ文字またはドライブ パスをパーティションに割り当てることができま す。	3
最大ディスク領域 (MB): 最小ディスク領域 (MB): シンプル ポリューム サイズ (MB)(S):	1907694 8 1907694 ▲		 ② 次のドライブ文字を割り当てる(A): ○ 次の空の NTFS フォルダーにマウントする(M): ② ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない(D) 	
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル	< 戻る(B) 次へ(N) > キャ	ッンセル

- ④【パーティションのフォーマット】の画面では、以下の画面のように、
 - ・「ファイル システム」は【NTFS】を指定し、
 - ・「ボリュームラベル」は、自分の好きな名前を付け、
 - ・「クイックフォーマットする」に必ずチェックが入っていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- ⑤【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】の画面が表示されたら「OK」をクリックします。

新しいシンプル ボリューム ウィザード		×	新しいシンプル ボリューム ウィザード		×
パーティションのフォーマット このパーティションにデータを格納するには、最初	にパーティションをフォーマットする必要があります。	4		新しいシンプル ボリューム ウィザードの完了	5
このボリュームをフォーマットするかどうかを選択! ださい。	してください。フォーマットする場合は、使用する設定を注	選択してく		新しいシンプルボリュームウィザードは正常に完了しました。	
○ このボリュームをフォーマットしない(D)				次の設定を選択しました。	
● このボリュームを次の設定でフォーマット:	する(O):			ホリュームの裡類: シンフル ホリューム 選択されたディスク: ディスク 1 ポリュームのサイズ: 1907694 MB	^
ファイル システム(F):	NTFS ~			ドライブ文字またはパス: D:	
アロケーション ユニット サイズ(A):	既定值			ノアイル システム: NIFS アロケーション ユニット サイズ: 既定値 ポリューム ニベリュ ポリューム	~
ボリューム ラベル(V):	ボリューム			<	>
✓ クイック フォーマットする(P)				ウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。	
□ファイルとフォルダーの圧縮を有す	効にする(E)				
	< 戻る(B) 次へ(N) > :	キャンセル		< 戻る(B) 完了	キャンセル

6

フォーマットが開始します。数秒から数分で、「正常(プライマリパーティション)」と表示されたら、 フォーマット完了です。



手順4. ディスクをAVT-C285 / ER130に接続します

1. MBRフォーマットに変換したUSBディスク(HDDなど)をAVT-C285 / ER130前面のUSB端子に接続し、 AVT-C285 / ER130を起動します。

【AVT-C285の場合】

【ER130の場合】



2.

①~③「ディスクの修復」の画面が表示されたら、AVT-C285 / ER130のリモコンの【OK】 ボタンを押し、 ディスクの修復を行います(※表示されるエラーメッセージは接続しているディスクの故障ではなく、 「改めてディスクを認識させる」という意味ですので、ご安心下さい)。

④メインメニュー画面の左上には「xx時間xx分」という表示が、「ディスクの利用可能時間」を示します。

【AVT-C285の場合】



【ER130の場合】



ページ 16

※AVT-C285 / ER130のリモコンの【MENU】画面を押し、【設定】→【ディスク管理】→【ディスクの情報】
 →【USB接続ディスク パーティション1】の順に選択し、USB接続ディスク(HDDなど)の構成情報を確認する
 ことができます。

【AVT-C285の場合】





【ER130の場合】





ページ 18